

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場会社名 株式会社サガミチェーン 上場取引所 東・名
 コード番号 9900 URL http://www.sagami.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 敏行
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 伊藤 修二 (TEL) 052(771)2126
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	12,708	29.0	239	△27.0	275	△20.2	131	△58.7
26年3月期第2四半期	9,851	7.6	328	—	344	—	317	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 159百万円 (△56.1%) 26年3月期第2四半期 363百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	5.25	—
26年3月期第2四半期	12.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	18,078	10,983	60.7
26年3月期	18,354	10,952	59.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 10,977百万円 26年3月期 10,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,700	26.5	580	9.6	625	8.5	385	△35.3	15.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 ー 社(社名) ー、除外 ー 社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	24,972,784株	26年3月期	24,972,784株
27年3月期2Q	11,027株	26年3月期	7,330株
27年3月期2Q	24,963,856株	26年3月期2Q	24,970,617株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日)におけるわが国経済は、政府の経済対策による景気の下支え効果もあり、輸出企業を中心に緩やかな回復基調でありましたが、国内消費は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減や夏場の天候不順の影響により、冷え込みが見られました。また、外食業界におきましては、原材料費や電気料金の上昇、更には中食需要の高まりなど小売業を巻き込んだ食市場争奪戦となっており、厳しい状況が続いております。

このような環境のもと当社グループは、お客様起点思考の視座をグループ全社で堅持しながら、店舗の改革を進めると共に、①ビジョン「No.1 Noodle Restaurant Company」の共有、②改革の継続(意識改革・制度改革・組織改革)、③営業利益率重視の経営、④グループ経営の強化を柱に取り組んでまいりました。

【各事業部門】

(a) 和食麺類部門

和食麺類部門では、主力業態である和食麺処「サガミ」において、全店販売促進企画として「料理フェア」を5回実施したほか、愛知県・三重県・岐阜県・静岡県・富山県・奈良県・滋賀県で「こだわりテレビCM」を4回放映いたしました。これにより既存店客数は前年同一期間に対して0.3%増となり、客単価が前年同一期間に対して0.1%減となったため、既存店売上高は前年同一期間に対して0.2%増となりました。

店舗関係では、「もんべとくわ 江南店」を和食麺処「サガミ 江南店」(4月)に業態転換いたしました。

なお、当第2四半期末の店舗数は128店舗となりました。

(b) 味の民芸部門

味の民芸部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を5回実施したほか、「スピードくじ企画」を6回実施いたしました。

店舗関係では、「味の民芸 千葉店」(7月)を閉鎖いたしました。

なお、当第2四半期末での店舗数はFC店舗を含み59店舗であります。

(c) どんどん庵部門

どんどん庵部門では、全店販売促進企画として「どんどん祭」を2回実施したほか、「料理フェア」を5回実施いたしました。

店舗関係では、「どんどん庵 苗代店」を「まるど食堂 小幡店」(7月)に業態変更し、また、「どんどん庵 美濃焼卸センター店」(7月)、「どんどん庵 刈谷新富店」(9月)を閉鎖いたしました。

なお、当第2四半期末での店舗数はFC店舗を含み41店舗であります。

(d) その他の部門

その他の部門では、団欒食堂「あいそ家」において「お客様大感謝祭」を1回実施したほか、「料理フェア」を4回実施いたしました。また、大型セルフうどん店「製麺大学」においては、「製麺大学祭」を1回、「料理フェア」を6回実施いたしました。

店舗関係では、国内においてショッピングセンターのレストランフロアに「さがみ庭 イオンモール各務原店」(4月)、「さがみ庭 イオンモール名古屋茶屋店」(6月)、フードコートに「サガミ村 イオンモール八千代緑が丘店」(7月)、軽井沢アウトレットモール内に「びんむぎ 軽井沢プリンスショッピングプラザ店」(7月)を出店し、海外ではタイ バンコクのショッピングモールRama 3にASEAN諸国の1号店となる和食・そば専門店「サガミ SAGAMI」(4月)を出店し、更には、インドネシアではジャカルタの人気ショッピングモールであるPLAZA SENAYAN内に「SAGAMI プラザスナヤン店」(7月)を出店いたしました。一方で、「もんべとくわ 江南店」(4月)を和食麺処「サガミ 江南店」に業態転換し、更にはパスタハウス「JINJIN 霞ヶ関店」(4月)、「上海盛賀美 福州路店」(4月)、「サガミ村 バロー大津店」(6月)、「水山 相鉄ジョイナス店」(9月)、「水山 代々木上原店」(9月)を閉鎖いたしました。

なお、当第2四半期末での店舗数はFC店舗を含み49店舗であります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,708百万円、営業利益は239百万円、経常利益は275百万円、四半期純利益は131百万円となり、当第2四半期末のグループ店舗数は277店舗であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、18,078百万円と前連結会計年度末に比べ276百万円の減少となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ311百万円減少し4,126百万円、固定資産は35百万円増加し13,951百万円、流動負債は前連結会計年度末に比べ367百万円減少し4,201百万円、固定負債は60百万円増加し2,893百万円、純資産は30百万円増加し10,983百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて290百万円減少し3,122百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果獲得した資金は234百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果減少した資金は271百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果減少した資金は242百万円となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月12日に発表した連結業績予想から修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,281,534	3,132,590
受取手形及び売掛金	147,489	129,032
有価証券	162,013	20,338
商品及び製品	113,441	110,038
原材料及び貯蔵品	225,551	243,287
その他	508,478	491,516
流動資産合計	4,438,508	4,126,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,934,220	2,036,518
機械装置及び運搬具(純額)	200,162	235,300
土地	6,646,273	6,646,273
その他(純額)	231,559	260,138
有形固定資産合計	9,012,215	9,178,231
無形固定資産		
のれん	1,019,536	968,559
その他	136,338	126,829
無形固定資産合計	1,155,874	1,095,388
投資その他の資産		
投資有価証券	1,178,386	1,254,356
差入保証金	2,068,994	2,012,333
その他	511,210	419,937
貸倒引当金	△10,529	△8,450
投資その他の資産合計	3,748,063	3,678,177
固定資産合計	13,916,154	13,951,797
資産合計	18,354,663	18,078,601
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	655,746	633,459
短期借入金	1,160,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	741,024	778,240
未払金	1,142,977	1,090,184
未払法人税等	163,922	94,683
賞与引当金	134,345	110,947
店舗閉鎖損失引当金	34,616	19,950
その他	536,284	473,943
流動負債合計	4,568,917	4,201,408
固定負債		
長期借入金	1,854,034	1,889,656
長期未払金	77,350	367,027
退職給付に係る負債	288,358	5,597
資産除去債務	396,388	410,614
その他	216,829	220,519
固定負債合計	2,832,961	2,893,414
負債合計	7,401,878	7,094,822

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,303,521	6,303,521
資本剰余金	3,405,791	3,405,791
利益剰余金	1,097,296	1,103,563
自己株式	△6,243	△9,845
株主資本合計	10,800,366	10,803,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,388	123,538
為替換算調整勘定	73,028	50,965
その他の包括利益累計額合計	143,417	174,503
少数株主持分	9,001	6,244
純資産合計	10,952,784	10,983,778
負債純資産合計	18,354,663	18,078,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	9,851,029	12,708,565
売上原価	2,965,755	3,876,453
売上総利益	6,885,274	8,832,112
販売費及び一般管理費	6,556,658	8,592,179
営業利益	328,615	239,932
営業外収益		
受取利息	2,016	3,211
受取配当金	13,842	16,317
為替差益	8,973	11,250
受取保険金	3,026	—
雑収入	9,481	21,511
営業外収益合計	37,340	52,291
営業外費用		
支払利息	17,200	10,905
雑損失	3,794	6,182
営業外費用合計	20,995	17,087
経常利益	344,960	275,135
特別利益		
保険解約益	22,439	—
資産除去債務戻入益	11,499	—
有価証券償還益	33,360	—
営業権譲渡益	47,738	—
固定資産売却益	7,254	1
特別利益合計	122,291	1
特別損失		
役員弔慰金	47,000	—
固定資産売却損	9,762	—
固定資産除却損	10,730	31,078
減損損失	16,022	38,852
その他	6,197	4,920
特別損失合計	89,712	74,852
税金等調整前四半期純利益	377,539	200,284
法人税、住民税及び事業税	65,236	61,703
法人税等調整額	△4,395	9,831
法人税等合計	60,840	71,534
少数株主損益調整前四半期純利益	316,699	128,749
少数株主損失(△)	△1,095	△2,344
四半期純利益	317,794	131,093

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	316,699	128,749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,051	53,149
為替換算調整勘定	47,715	△22,475
その他の包括利益合計	46,664	30,673
四半期包括利益	363,363	159,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	362,466	162,180
少数株主に係る四半期包括利益	896	△2,756

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	377,539	200,284
減価償却費	192,755	234,888
のれん償却額	—	50,976
減損損失	16,022	38,852
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,475	△1,269
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,166	△23,398
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△282,761
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△2,603	△14,665
受取利息及び受取配当金	△15,859	△19,528
支払利息	17,200	10,905
固定資産売却損益(△は益)	2,507	△1
固定資産除却損	10,730	31,078
有価証券償還益	△33,360	—
営業権譲渡益	△47,738	—
資産除去債務戻入益	△11,499	—
為替差損益(△は益)	△8,973	△12,007
売上債権の増減額(△は増加)	21,984	18,456
たな卸資産の増減額(△は増加)	△27,177	△14,332
仕入債務の増減額(△は減少)	△120,732	△22,287
未払金の増減額(△は減少)	△130,607	171,738
その他	35,574	8,478
小計	269,121	375,409
利息及び配当金の受取額	15,644	17,408
利息の支払額	△16,500	△10,796
法人税等の支払額	△11,778	△147,856
営業活動によるキャッシュ・フロー	256,487	234,165
投資活動によるキャッシュ・フロー		
営業権の譲渡による収入	18,486	—
有価証券の償還による収入	160,000	—
有形固定資産の取得による支出	△234,303	△400,864
有形固定資産の売却による収入	73,228	53,035
投資有価証券の取得による支出	△12,500	—
差入保証金の差入による支出	△21,773	△16,629
差入保証金の回収による収入	23,551	79,582
その他	55,020	13,483
投資活動によるキャッシュ・フロー	61,710	△271,392
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	80,000	△160,000
長期借入れによる収入	400,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△807,879	△427,162
自己株式の取得による支出	△2,464	△3,602
配当金の支払額	△124,101	△124,827
リース債務の返済による支出	△13,032	△27,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	△467,477	△242,923
現金及び現金同等物に係る換算差額	47,248	△10,468
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△102,031	△290,618
現金及び現金同等物の期首残高	3,118,431	3,413,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,016,400	3,122,928

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の報告セグメントは、「外食事業」のみであり、その他の事業セグメントは重要性が乏しいため、記載を省略しております。